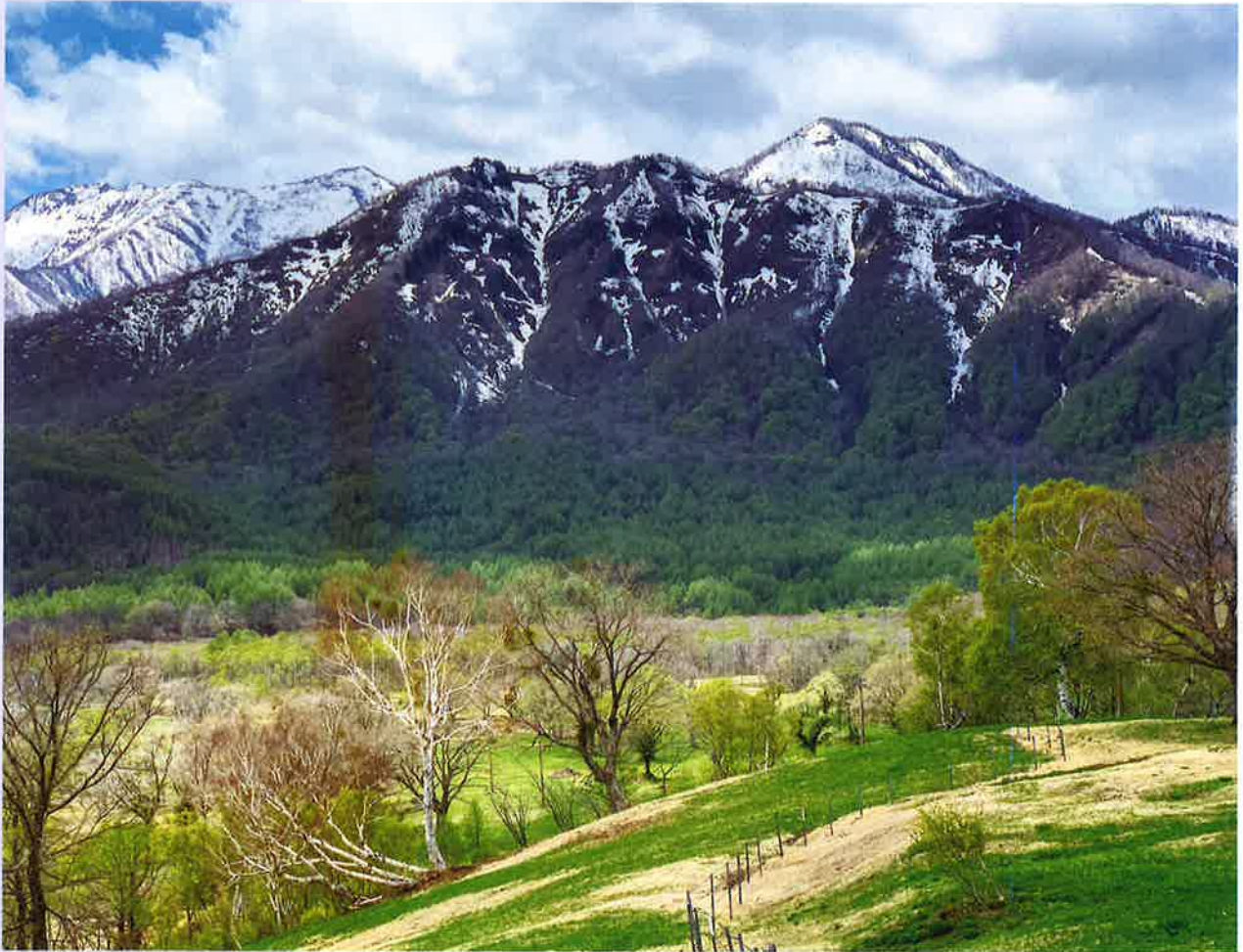


# なまこん信州

第81号  
Namacon Shinsyu  
2021.2.28  
(令和3年)

URL:<http://www.nr-coop.server-shared.com> E-mail:[nr-coop@muse.ocn.ne.jp](mailto:nr-coop@muse.ocn.ne.jp)



## 目次

contents

理事長ご挨拶	2
令和2年度品質管理監査について	3～7
コンクリート診断士・主任技士・技士合格者	7～8
高校生コン打設実習	9
北から南から	9
事務局だより	10
編集後記	10

発行所  
長野県生コンクリート工業組合  
〒381-2213  
長野市広田48番地神明第1ビル5階  
☎026-283-8712  
発行責任者 山浦友二  
奥山印刷工業株式会社

# 理事長ごあいさつ

長野県生コンクリート工業組合 理事長  
長野県生コンクリート協同組合連合会 会長

## 山 浦 友 二



組合員の皆様には、日ごろから、工業組合並びに協同組合連合会の事業運営に際し、格別のご理解、御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、四月早々、緊急事態宣言が全国に発出される中で始まった令和二年度も最終盤となつてまいりました。

感染症の影響から、本年度は総会をはじめ理事会、各委員会や研修会、交流会などが縮小や中止を余儀なくされ、組合員相互のコミュニケーションがとりにくく、非常に難しい組合運営となりました。

組合といたしましては、コロナ禍の困難な状況ではありましたが、組合員の皆様のご協力をいただきながら、技術力の更なる向上や経営基盤の強化、需要拡大、組織力強化など、様々な課題に対応した取り組みを行ってまいりました。組合の最も重要な事業として、品質の一層の向上目指して実施し

ている品質管理監査は、立会や説明者を極力少数としたうえで実施し、六九工場、七〇プラントのすべてが合格し、合格証が発行されました。

また、公共事業費の増額と併せ、災害に負けない強靱な県土を築くため、堤防やえん堤の生コンによる整備、経済性に優れ、環境にも優しいコンクリート舗装の積極的な採用などを、国や県などの発注機関に対して強く働きかけ、需要の拡大を図ってまいりました。

このような中で、本年度の県内生コン出荷量は、災害復旧や大型物件の需要が全体を押し上げ、多くの協組で前年を上回っており、最終的には組合全体で一三〇万㎡を見込める出荷状況にあります。が、今後の災害需要の減少や新型コロナウイルスによる民間需要減退の恐れなど、私たち生コン業界は、いま

だに非常に厳しい環境に置かれていと認識しています。

生コン業界には、インフラ整備の基礎資材産業として、どのような状況にあつても安定的に品質の高い生コンの供給が求められます。組合員の皆様には、日頃から更なる技術研鑽に努められるとともに、一致団結して困難な状況に立ち向かい、ユーザーの期待に応える生コンの安定供給に、引き続きご尽力いただきますことをお願いする次第です。

工業組合といたしましては、関係業界とも連携し、今後の生コン需要の一層の拡大に努めてまいりたいと考えていますので、組合員の皆様の力強いご支援をお願いいたします。

終わりに、組合員の皆様のますますのご発展とご活躍をご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

# 令和二年度

## 品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査会議議長

### 大上 俊之

長野県生コンクリート品質管理監査会議の議長として本年度の総括を述べさせていただきます。実施状況は、通常監査として、前年度より一工場減の六九工場七〇プラントを実施しました。査察は、全国基準に照らし、前年度合格証交付工場の一割以上を実施することと、八工場を実施しております。また、査察については、全工場に議長あるいは副議長が立会うこととし、実施してまいりました。

結果の審議は去る十二月二十一日に開催した第三回監査会議において全工場の監査合格と査察の適合を承認しました。詳細については二月八日の監査報告会において報告を行ったところです。本年度は、是正処置が二件あり、その改善を要求し、処置確認のための再監査を実施しました。幸いにし

て、問題点の改善が確実に実施され、監査会議において適合との評価を得ております。本年度はコロナウイルス対策を取ったの監査方式となり、例年にならぬ取組みとなりました。これにより新たな問題点も散見することとなりましたが、品質管理の基本である、改善・計画・運用・評価のサイクルを進め、問題の摘み取りを行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

令和二年度品質管理監査については、方針を「指導要望事項の削減と呼び強度比の維持」、及び「品質管理に対する意識の向上」として前年度同様に進めてまいりました。結果の詳細につきましては、令和二年度報告書に記載された通りですが、ここでは本年度の成果報告と、今後の取り組みにつ

いての考えを申し上げます。本年度の監査方針の結果は、是正事項及び前年度の改善率向上と指導要望事項の削減で未達成となり、それ以外の目標は達成となつております。

「呼び強度比の維持」については平均値1・30の目標値に対して1・30、1・50以上の工場数0の目標に対して0工場となり、平成二十七年以来目標値を達成してまいります。前年度の指導要望事項の是正率九七%以上の目標に対しては、九五・七%の実績となり、未達成となつております。「指導要望事項の削減」については、指導要望事項数四〇件以下に対して八〇件となり、昨年実績より大幅に増加し未達成となっております。内訳は実地検査の減少がありましたが、総括事項などの他の項目が増加となっております。これらの項目の比率は

前年度とほぼ同様となつており、そのうちの全体の五六%を占める総括的事項については、JIS改正対応、記録管理、社内規格配布管理に不備がありました。

トータル減点数については、前年度より平均値が増加するとともに、減点0の工場が減少し、全体の六一%、四三工場となつております。また、指導要望事項なしの工場が前年度より減少し、二一工場

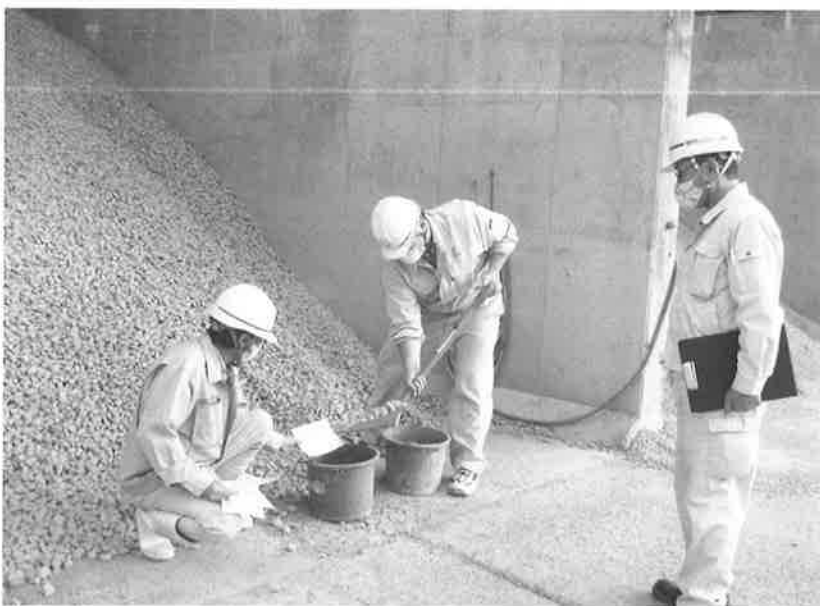


表-1 指導要望事項の項目別内容

指導内容	件数	詳細 (不備部分の説明)	
総合的事項	社内規格見直し	19	JIS改正対応(製品規格、報告書、納入書)、規定及び記録との不整合
	記録類	7	書式、記録不整合、議事録不整合、改正記録不備
	社内規格改正配布	6	配布管理不備、別冊管理の不整合
	不適合管理	4	予防処置の記録不備、不適合管理規定と記録の不整合
	品管・検査員選出	4	品管選任不備、製品検査員選任不備
	公害防止	3	使用届出書変更・更新未対応
	外部文書	2	最新版管理(JASS5)
	小計	45	
材料	受入れ・チェック	7	混和剤受入チェック不備
	小計	7	
配合	配合の確認	3	配合変更手順の不整合
	小計	3	
製品	製品検査・管理図	5	強度管理方法の不整合
	小計	5	
設備	製造設備	4	材料受入識別不備、ストックヤードの水溜り、印字記録装置の管理不備
	検査設備	3	温度計管理の不備
	小計	7	
工程	動荷重検査	4	通常使用しない計量器管理不備
	測定の不整合	3	表面水管理
	工程管理	2	容積保証
	小計	9	
実地	試験方法	2	試料採取方法の不備、圧縮試験手順の見直し
	検査不適合など	2	容積不適合
	小計	4	
合計	80		

指導要望事項に対する改善計画書の1か月以内の提出について、四八工場が対象となりましたが、すべてが期間内に提出されました。ただし、提出必須の是正処置報告書未提出及び誤記入により、再提出を求めた工場が八工場あったことなど、周知徹底不足が窺えます。

本年度は品質管理責任者説明会が開催できなかったため、周知が資料配布と自習形式により実施、議長宛の実施報告書提出を必須としました。監査結果及び監査委員の提言から周知不足がうかがえるため、令和三年度は説明会の開催を行うこととしました。また、

内容の周知を確実にするため、説明会出席者及び監査員と技術委員を中心とした各支部での開催も併せ実施することとしています。ご協力をお願いいたします。

最後に、監査内容の分析結果として指導要望事項の詳細な内容を

表-1として示しました。それぞれの項目を自工場の課題として取り組み、改善を進めていただきたいと思えます。その他のデータについても、別資料として公表いたしますので、次年度への活用をお願いいたします。

## 品質管理監査を終えて

長野県生コンクリート品質管理監査会議副議長

遠藤典男

本年度の監査結果も十二月二十一日の品質管理監査会議で審議が行なわれ、監査と査察を受けた全ての工場で適合と判断され、二月の報告会において合格証が交付されました。ここに監査と査察に際して種々対応された工場関係者各位、長野県工業組合に深甚なる敬意を表します。本年度は、年度当初よりコロナ禍での監査と査察の実施となり、対応された工場の皆様、審査を行った監査員の皆

様におかれましては、例年になくようなご苦勞もあつたかとお察し致します。

本年度の監査において、減点が0となったプラントは、監査を実施した全六九工場（七〇プラント）のうち四三工場であり、割合としては六一%で、昨年度に比べると低下してしまいました。また、減点が二〇点を超えたり、スランプの不適合で再監査となつてしまつたプラントも散見されまし



た。このような背景もあり、年度当初に設定した目標のひとつである「是正勧告0件、指導要望事項を四〇件以下とする」に関しては、是正勧告二件、指導要望事項八〇件、「前年度の指摘事項の是正率九七%以上」とした目標に対しては、是正率は九五・七%となり、達成には至らず、また、「不適合工場を0にする」という目標も達成には至りませんでした。一方、「呼び強度比を1・30

とし、1・5以上の工場を0」とした目標に対しては、呼び強度比は1・30、1・5以上の工場はなく、これらの目標は達成されました。来年度は年度当初に設定する全ての目標達成を願っております。

個別の監査項目に関して、今年度は容積関係の監査項目である「B1301容積の管理基準」、「B1302容積の検査」、および「C0206容積」の三項目を合計すると五件の指導要望事項があり、例年に比べ多かったです。生コンクリートの容積に関しては製造者と購入者の最も基本的な契約であり、生コンの性能とともに重視したい項目であると考えます。また、例年多くの指導要望事項が指摘される、総括的事項の調査における「A0203社内規格の見直し」についても八件のB評価事項がありました。毎年変更され、年々厳しくなる監査項目ではありますが、日々の業務の根幹をなす

社内規格に関しても、ご対応いただきたく願っています。

いまだに先の見えないコロナ禍の社会においても、生コンクリートを製造する皆様におかれましては、何かと大変な時ではあります。後世に残る構造物を造るという重責の一端を担っていることに鑑み、仕事に取り組んでいただきたくお願いいたします。

## 品質管理監査 副監査員を終えて

共和アスコン株式会社生コン工場

高田孝志

令和元・二年度の二年間に渡り、副監査員を務めさせていただき十九工場の監査に立会いました。北信地域の栄村、東信地域の南牧村、南信地域の岡谷市の各工場の立会が出来たことは私にとつて、緊張の連続であり、大きな経験となりました。他工場の設備、社内規格、そして管理書類一式のどれもが、他工場の状況を知らない私には、新鮮であり、新たな視点と知識となりました。

更に、令和二年度は、まだ先行きが見えない新型コロナにより、例年と違い、密を避けるために、自分でたくさん帳票類の中から探し、確認するスタイルとなりました。

当初、目的の帳票記録等を確認するのに時間がかかり、時計をチラチラ見つつ、冷汗をかきながら確認させていただきました。慣れてくると、記録の整理の仕方等にも目が向けられ、参考になり貴重な経験となりました。

プラント設備や実地検査の写真撮ることも了承をいただき、素人っぽい質問をしても嫌な顔をせず丁寧な対応をしていただけました。大変うれしく思います。また、品管に関して取組む姿勢も学ぶ機会となりました。

最後になりましたが、二年間務めることが出来たのも、宮島主任監査員、川崎監査員をはじめ、伺いました工場の皆様、立会をして下さった皆様のご協力によるものです。感謝申し上げます。この経験を活かし、日々の業務に役立つよう励んでいきたいと思えます。

二年間本当にありがとうございました。

## 監査を終えて

株式会社星澤組

### 丹後大和

令和元・二年度 副監査員を担当させて頂きました。二年前担当リストを拝見した時に、いずれも県内有数のレベルの高い工場の担当に決まり、期待と高揚感に包まれるとともに、無事監査業務を遂行できるか不安と緊張でストレスが溜まったのを記憶しています。どの工場も、生コンクリートの安定供給に向けて積み重ねた日々の品質活動の努力の軌跡が窺え、期待通りに優良な工場であったと感じています。当然、長所や優れた点は今後の生コン人生の参考にするため、メモにびっしり書き留めておきました。また、本年度はコロナ渦の中の非接触で従来と異なる審査方式となり、綺麗にファイリングされた書類の山との勝負に全身全霊で挑みました。監査員

三名体制で粛々と審査が実施され、丹念にチェックが行われたため、非常にきめ細かい、例年以上に厳しい監査であったように思います。その中で、対応を一手に引き受ける品質管理責任者は、生コン工場の礎であると再認識し、またその力量が工場のレベルを左右するのだと実感しました。チェックリストをクリアすることはもちろんですが、立会人の方に丁寧で手厚い説明がなされている工場には非常に好感が持てました。監査を無事終え、副監査員としての役割を全う出来たのか自信がありませんが、最高の社外教育を受けさせて頂き、自身のレベルアップに繋がったのは確実です。培った経験を今後の工場の発展に役立てたいと思います。

## 副監査員を

### 経験して

有限会社南木曾生コン工場

### 中島敏之

令和元年四月より二年間、品質管理監査の副監査員を務めさせて

頂きました。二年間で一九回、計一五工場担当しました。近場の工場に振り分けられたのですが、僻地に住んでいるという事もあり担当工場にたどり着くのに平均二時間程要します。方向音痴の私ですが、ナビのおかげで旅行気分でしたり着きます。三〇分前には工場近くの道の駅に待機できるように心掛けました。道の駅に詳しくなりました。

一年目不安で仕方なかったのですが宮島主任がすべての書類を準備して頂く下さり、集中して副監査員の業務に臨めました。他工場の設備や書類をほとんど見たことがない私は社会見学にきた小学生のようにワクワクせずにはいられません。自分の勉強にもなりました。自分の学んできた事もアドバイスできました。二年目は川崎監査員も加わり、又コロナ渦での特殊な監査でした。各工場の対応も素晴らしいものでした。例年以上に書類を隅々まで見る事ができました。帰りは直帰の年でした。担当監査日に自工場での難しい仕事がある日、快く送り出

してくれた会社には感謝します。最後に、もし副監査員になれるチャンスがあるのなら立候補してでもやる価値のある経験です。自分の今までの仕事が試されます。訪れた事のない市町村でその特産品も学べます。良いこと尽くめです。

## 品質管理監査を

### 終えて

クインスレミック株式会社

### 平林雅彦

品質管理監査の副監査員を二年間務めさせて頂き、無事終了することが出来ました。お伺いした工場の皆様、関係者の皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

さて、思い起こせば2年前、監査員として初めて工場に伺ったときは、緊張して階段から足を踏み外したことがあったなと懐かしく思います。また、よく監査の日が、弊社の大量出荷と重なり、大変だったことを思い出します。2年目は、新型コロナウィルス感染

症により、例年とは違った形での監査でしたが、無事終了することが出来ました。

今までは、監査を受ける立場でありましたが、監査員という立場で工場を見させて頂き、とても良い経験になりました。工場によって、体制は違いますが、各セクションが持ち場を守り、また、協力して取り組むことが重要であると改めて感じました。動荷重検査の説明が分かり易くスムーズな工場、製品試験がスムーズな工場、書類が見易く整備されている工場など、真摯に取り組む姿勢も伝わってきました。参考となることは取り入れ、弊社の品質管理の向上に努めたいと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染症により社会が変化し、品質管理監査の方法も変化しましたが、皆で力を合わせてこの難局を乗り越えて行きたいと思えます。一日でも早く、新型コロナウイルス感染症が終息することを願う監査の感想とさせて頂きます。

### 令和2年度 コンクリート主任技士・技士 合格者名簿一覧

☆コンクリート診断士合格者(2名)	
松本支部	山岸 靖幸 昭和産業(株) 松本工場
長水支部	井出 泰幸 (株)本久 長野生コン工場
☆コンクリート主任技士試験合格者(3名)	
松本支部	西原 明史 (株)小石興業アツプル生コン工場
木曾支部	中島 康太 (有)南木曾生コン工場
上伊那支部	小原 道彦 (株)大和興業
☆コンクリート技士試験合格者(5名)	
木曾支部	赤羽 光平 昭和産業(株) 木曾生コン工場
諏訪支部	小野 由起 クインスレミックス(株)
上伊那支部	林 鉄也 (株)大和興業
下伊那支部	三石 伊織 アザーレミックス(株)
	下平 正司 松川・モルセラ(株)本社工場

### コンクリート 主任技士



### 主任技士試験を 終えて



(株)大和興業

小原 道彦

私は平成七年に技術課係員として入社し、その間、一貫して技術課の業務を担当し、気が付けば二十五年の歳月が流れ現在に至ります。入社の年に技士は合格しましたが、そこで満足してしまい、主任技士はかなり難しい試験であると聞いていた事と、当時は主任技士がおられた為、しばらくは取得を考える事ありませんでした。しかしながら、世代交代が行われ主任技士不在の間が続き、生コンを取り巻く情勢も刻一刻と変化していく中で、その重要性を改めて

認識し、今回七回目の挑戦でようやく合格する事ができました。勉強方法ですが、四択問題に関しては苦手な部分を重点的に行い(七回目ともなると自分の得意な箇所は見えていましたので)、過去問題を中心に理解度を深めました。又、小論文はセメントメーカーの対策集を参考に二例程文章を組み立て、書いては直しを繰り返して全体の構成と内容を把握する事に努めました。

冒頭でも述べましたが、私は技士合格から二十年近くが過ぎてようやくやく重い腰を上げ、途中幾度か挫折感で諦めようとも思いましたが、今回無事に合格できました。皆さんも是非、挑戦中の方は継続して、技士の方は現状で満足する事なく間を置かずにチャレンジして下さい。

今回の技士・主任技士試験で当工場では各一名が合格となりました。世の中が大変厳しい状況にある中、直前迄受験に迷っていた私達の背中を押して下さいました社長をはじめ、御協力いただいたセメントメーカー様並びに関係者の皆様

へ、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

## 主任技士試験を終えて



(有)南木曾生コン  
中島 康太

私は木曾にある(有)南木曾生コン工場で試験係長として日々業務を行っております。

主任技士試験は過去二度受験し、共に準備不足で全く太刀打ちできませんでした。

本年は必ず合格したいと強く思い、五月ごろから勉強を開始しました。

ただ、半年以上の期間勉強を続けるということは難しいと考え、一日三〇分以上会社で必ず勉強するというルールを決めました。

会社の中でちよつとした空き時間を見つけては五分〜一〇分程度の勉強を何度も繰り返ししました。

そうする事で一日三〇分〜一時間程度の勉強時間を確保できました。

勉強内容はセメントメーカーからの模擬問題と(株)JIC様のWeb講習と技術の要点の熟読の三点でした。

この中でもWeb講習を重点的に行いました。

講師の方から問題の回答に対する具体的な説明をメールで求められ、返答を作成する中で参考書や規格を調べることで理解度が深まりました。

受講料も決して安価ではありませんでしたが、無駄にはできないという想いが勉強意欲に繋がった部分もあり、継続して勉強し続けることができました。

また小論文については三題(環境、新技術、経験)を事前に用意し、本試験の中で問われた内容と合致したので問題なく回答することができました。

アドバイスとしては、覚悟を決めてやりきる。ということだと思います。

この業界で品質に係わる限り主任技士試験は切っても切れません。

覚悟を決めて勉強を継続すればきっと合格できます。

## 主任技士に合格して



(株)小石興業  
西原 明史

現在私は、生コン工場の試験室に勤めています。以前は別の業界に従事していましたが、建築・土木業界のコンクリートに興味があったことで、今の会社に入社し六年経ちました。所属している部署の関係で、コンクリートの知識をもっと実務に活かしたいと思い、今回主任技士試験を受けることにしました。

主任技士試験は四肢択一問題と小論文問題があります。自分の勉強方法としては、文章を書く習慣がなく文章に自信がなかったので、まず先に小論文対策のため過去に

主任技士試験で出題された問題の解答例を原稿用紙にひたすら書き、

小論文の書き方や構成を真似する練習をしていました。また、自分でコンクリートに関するテーマの小論文を書き、上司や先輩に見せ添削してもらったりもしていました。四肢択一問題の対策としては、過去の試験問題を解いていき、わからない用語は参考書を読み理解するようにしていました。

これから主任技士試験を受ける方で、業務上レポートや論文等文章を書く機会がない方は、最初以小論文を書く練習をお勧めします。そして、なるべく上司や先輩方に書いた小論文を見せ添削してもらうことで、自分の文書の悪い点に気付くことが出来ると思います。

今回主任技士試験を勉強したおかげで、文章力が身につき、コンクリートの知識もより深くついたと思います。これからは、主任技士としてその得た知識を実務に存分に活かし、顧客からの要望に対してよりの確な対応を心掛けたいと思います。





丸子修学館高で生コン打設の実習が行われました

校内屋外連絡路を再整備

丸子修学館高校総合学科三年の工業実習選択生徒はこのほど、小諸市の竹花工業の全面協力で、校内屋外連絡路で生コンクリート打設の実習を行った。

校内整備の一部が課題研究テーマになっており、平成二十二年度の総合研究で行った「丸修ログロード」の木が腐食し、滑りやすく危険になってきたため、コンクリートの連絡路にすることにいった。

工業実習選択の生徒十六人は、新型コロナウイルス後に竹花工業の協力で、生コンクリートの製造と強度の学習を行ってきた。

再整備することになった連絡路は幅一・八m、長さ一六m。打設のため、あらかじめ鉄筋を設置、デザインとして所々に小さなブロックを置いた。

打設当日は雨天になったが、テントを張るなどして通路に雨が当たらないように対応。

使用した生コンは約三立方メートルで、竹花工業が無償提供。最初にコンクリートミキサー車から少量出して、生徒が見守る中生コンの柔らかさを示す「スランプ」や空気量などを専用の器具を使って計測。立ち会った小幡正樹校長が生コンの受け入れ

サインを行った。

通路の大半は車両が近づけない場所にあるため、生徒は一輪車を使って荷下ろしした生コンを次々と運び、竹花工業の従業員も一緒に通路面が平らになるよう整地用具を使って仕上げ作業を行った。生徒は教員や竹花工業のプロに教えてもらいながら、徐々に用具の扱いに慣れ、フラットな路面にすることができた。実習した生徒は「こうした工事の現場を経験するのが初めて。生コンの打設ができて良い経験になった」と喜んでいった。

工業科の松田晃和教諭は「設計などは生徒が考え、コンクリートには予算が必要だが、今回は竹花工業の好意でいただき、ありがたい。強度が出るのに四週間かかるが、歩道なので二週間で十分。生徒は貴重な体験ができたので、今後の進路で役立ててもらいたい」。小幡校長は「生徒は慣れない作業だったと思うが、経験に勝るものはない。雨天でも行ったが、時間が余裕のない現場ではあり得ることなと思う」と話していた。

(令和2年10月20日 東信ジャーナル記事より)

協組の話題  
北から  
南から

オリンピック  
開催に向けて

上伊那生コン事業協同組合 事務長

白鳥和幸

新型コロナウイルスの世界的流行により、一年延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催が危惧されています。そうした中、当組合ではオリンピックを年二回ほど開催しています。(オリンピックは四年に一度の開催では?) 実は「オリンピック」と称して組合親睦のゴルフコンペを開催しているのです。なぜ、「オリンピック?」ゴルフ好きの方はご存知かと思いますが、そうでない方もおられると思いますので、簡単に競技方法を説明します。通常のゴルフ競技は18ホールのストロークプレイ(ハンディキャップ制)で行い打数の少ない方が優勝するものですが、当組合のゴルフコンペはグリーン上に四人(通常四人一組でラウンドする)のボールが乗った時点の距離の一番遠い人が「金(四点)」「二番目が「銀(二点)」「三番目が「銅(二点)」四番目は「鉄(一点)」とし、これを一発で入れれば得点が与えられ、その合計得点で優勝を争うのです。また、グリーン外から直接入れれば「ダイヤモンド(五点)」が与えられるのです。しかも、四

人だけでなく別の組の四人(ブレール状況が分からないため点数が把握できない)、従って七人を相手に競うのです。オービーを打とうが、何打叩こうが問題ではありません、グリーン上だけが勝負なのです。これが実に面白いのです。どう見ても入りそうもない10メートル以上もあるパットが入ったり、目を瞑って打つても入りそうな30センチを外したり、かと思えばグリーン外30ヤードもある距離やバunkerから直接カップインしたりしたりもするのです。前半が終わって昼食をとりませんが、0点の時は昼飯も喉に通らないほど焦るのです。そして後半も、和気あいあい(グリーン上は真剣勝負である)とまではいかないまでも楽しく18ホールが終了し勝敗が決するのであります。その後の19番ホールは本日のプレーをつまみに大いに盛り上がることは言うまでもありません。これが当組合の「オリンピック」であり、「オリンピック」を通じて今後も親睦を深めていきたいと思えます。

話を元に戻そう……「人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証として」東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを熱望しますが、現実的には大変厳しいのではないかと考えられます。ワクチン接種も含め一日も早い新型コロナウイルスの終息を願います。

# 事務局 だより

活動報告・予定

自：令和2年9月  
至：令和3年5月

## 令和2年度

- 9月24日 第四回正副理事長会議
- 10月3日 第五回理事會
- 10月17日 第一回技術者養成講習會  
(安筑)
- 10月27日 第二回技術者養成講習會  
(佐久)
- 11月19日 第六回正副理事長會議
- 11月24日 (二社)長野県砂利砕石業協会との懇談會
- 11月26日 長野県建設部への要請
- 12月21日 第一回共同事業委員會
- 12月21日 第二回監査員會議

第三回品質管理監査會議

1月20日

事務(局)長會議

1月22日

第二回技術委員會

1月26日

第七回正副理事長會議

2月2日

第七回理事會

2月8日

国・県発注機関への新年表敬訪問

2月8日

令和2年度品質管理監査報告會  
・技術研究発表會

2月18日

第二回労働安全衛生委員會

## 令和3年度

- 4月3日 品質管理責任者講習會
- 4月14日 第一回監査員會議
- 4月26日 第一回品質管理監査會議
- 5月24日 第一回正副理事長會議
- 5月24日 第一回理事會
- 5月24日 工組・協組連會計監査
- 5月24日 第二回正副理事長會議
- 5月24日 第二回理事會
- 5月24日 工組・協組連通常總會

## 編集後記

下半期を振り返れば、重要なニュースは数多くありましたが、引き続き新型コロナウイルスが世の話題をほぼ独占してきました。

ワクチン接種が始まったばかりのイギリスで、新型コロナウイルスの変異種が出現し、イギリスで急速に広がっており日本でも感染者が発生しています。さらには、イギリスで既に見つかっていた変異種よりも「さらに感染力が強い」といわれる変異種が、南アフリカ由来で新たに見つかったそうです。いったいどこまで続くのでしょうか。

さて、工業組合主催により、二月八日に「技術研究発表會・品質管理監査報告會」を開催しました。今後も、生コンクリート製造技術の向上やコンクリート舗装の普及推進に向けて、研

修会・講習會を開催し、行政機関及び関連機関等並びに各組合員へ発信していきたいと思えます。

生コン業界も多くの地域で大変厳しい状況が続きますが、各組合員・支部(協組)と工業組合との連携を強化し、生コン業界の動向や品質監査・技術等に関する情報を積極的に「メール情報」等を利用して、発信して参りますのでよろしくお願いいたします。

